

# 八千代市立大和田西小学校



ホームページURL : [yachiyo.ed/eonisi/](http://yachiyo.ed/eonisi/)

## 今年度のESDの重点目標（取組）

- ・ユネスコスクール及びESDの考え方を理解した上で、従来行っていた活動をESDの観点で捉え直し、ESDの実践を行う。
- ・環境への思いやり、人への思いやり、そして社会への思いやりを育む。

## 【令和4年度 ESD 実践報告】

### 01 1年生 「かぜとなかよし」（生活科、学級活動）

自分が作った「くるくるへび」や「かざ輪」が動く様子から、風は物を動かすことができることを知り、身の回りの風を使って電気をつくり出す「風力発電」について考えた。



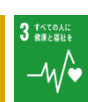
### 02 2年生 「つくる 楽しさ はっけん」（生活科）

家庭で捨ててしまう空き箱やペットボトルのキャップなどを回収し、それらを使って動くおもちゃを作った。子供たちはおもちゃを手直ししながら、大事にすることができた。



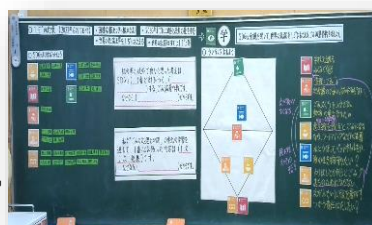
### 03 3年生 「工場の仕事」（社会科）

工場で働く人たちが「飲んでほしい」と願っているのに、牛乳が廃棄されている実情を捉えさせ、「捨てられるのはしょうがないことなのか」と新たな問いを設定して考えさせた。「食品ロスを減らすために牛乳を残さない」などの考えを、自分の生活に結び付けた。



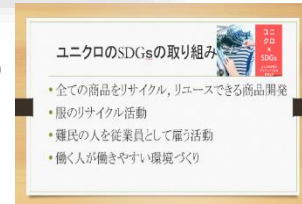
### 04 4年生 「住みよいくらし」（社会科）

国連広報センターの根本さんがビデオメッセージを通して、地球の温度を1.5℃に抑える理由が語られている動画を視聴し、13番を解決するために前時に考えたごみの減量作戦が、どのSDGsと結びつき、多角的かつ多面的に理解する活動を行った。



### 05 5年生 「持続可能な社会」（総合的な学習の時間）

校外学習（クルックフィールズ）やBANDAI（ガンブラを作る作業）を通して、各会社のSDGsの取り組みについて学んだ。学んだことを活かして、自分で会社を決めて、その会社について行っている取り組みをPowerPointにまとめ発表を行った。



### 06 6年生 「わたしたちの大西祭」（総合的な学習の時間）

ごみをなるべく出さないお店の経営を目標として、クラスごとに子供達が出し物を企画した。画用紙やガムテープなど新品の物を使うにはお金がかかる。特に、ごみ袋が高価なものとなっており、作った物を簡単には捨てられないようになってしまった。一方で、段ボールやペットボトルなどの本来捨てるはずの物は、無料で使うことができるようにルールを設定した。そのため、購入した物は大切に扱い、段ボールなどは効果的に活用できるように工夫する姿が見られ、「作る責任、使う責任」を念頭に子供達が活動することができていたように感じる。

